



2010年1月24日

# ほ っ と ニ ュ ー ス 29



上山高原エコミュージアムの“ほっ”なニュースをお届けします。

## 「正月飾りと門松づくり教室」

12月23日、「正月飾りと門松づくり」体験教室がふるさと館で行われました。

参加者は町内外から訪れた家族連れ9名。しめ縄や門松づくり、そして、餅つき体験をしました。



しめ縄づくりでは、講師からまず縄のより方についての解説を受けた後、実際にわらを編みました。わらを引っ張りながら力を入れてねじります。講師の手ほどきを受けながら、「めがね」「みの」「エビ」「七五三」などをつくりました。できあがっていくしめ縄を前に、家に飾るのが楽しみと、皆の笑みがこぼれます。

次はお待ちかねの餅つきです。栃餅やよもぎ餅をつくり、昼食としていただきました。つきたての餅をほおばり、一足早い正月気分を味わっていただきました。午後からいよいよ大物、門松作りです。楕円形の鉢の外枠を竹で囲って針金で固定した後、鉢に土を入れて先端を斜めに切った青竹を配置し、縁起物の松、竹、梅や南天、葉ボタンで飾り付けを行いました。出来上がった作品を囲んで全員で記念撮影。一生懸命作った



しめ縄、門松飾りをそれぞれのおうちで飾り、お正月を感謝の気持ちで迎え、よい年でありますようにと話しながら解散となりました。(報告：田畑 修)



### 上山エコ リポート&リポート

#### 年末の大掃除 ありがとうございます

12月17日、会員有志による年末恒例、ふるさと館大掃除が行われました。窓ガラスや床のふき掃除など約2時間かけて行われました。ご参加いただいた皆様、本当にご苦労さまでした。1年間のほこりを落とし、すがすがしい気持ちで新しい1年を迎えることが出来ました。



#### 上山高原写真展

ふるさと館では上山高原写真展に展示する写真を11月末まで募集していましたが、その入賞作品の表彰式を12月23日に行いました。

いずれも力作ぞろい、審査もなかなか難しかったのですが、応募総数25点の中から、最優秀賞の西川敏雄さんの「秋彩」を始め、13点を入賞作品として選びました。

写真を通じて奥八田地区の自然や里の風景の素晴らしさを再発見してもらおうと始めたこの写真展。現在、全作品を館内で展示中です。素敵な写真をぜひご覧下さい。また今年は4月から作品の応募を受け付けます。ベストショットお待ちしております！



#### 入選された方々

西川敏雄さん、佐々木信一郎さん、竹中静夫さん、山本一郎さん、足立章さん、済木雅彦さん、古岡憲夫さん



## 2月のプログラムのご案内

### かんじきハイキング(海上コース)

日時 2月14日(日) 9:00~15:00  
 集合 ふるさと館  
 参加料 大人1000円 子供500円  
 内容 雪山の海上地区 布滝、尾の谷滝のハイキングと動物、草木の観察をします。  
 持ち物 お弁当、飲み物、防寒具など  
 かんじきはこちらで用意します。



### 視察研修のご案内

今年は島根県の石見銀山を訪れます。自然と共存した産業遺跡として内外から高い評価を受け、2007年に日本で14番目の世界遺産となりました。竹の活用を積極的に進めている地元NPOとの意見交換や、帰りには宍道湖にも立ち寄る予定です。ぜひご参加ください。

日程 2月20日(土)早朝 ふるさと館出発  
 ~ 21日(日)19:00頃帰着

場所 石見銀山ほか  
 宿泊 大田市内の予定  
 費用 男性17000円 女性15000円予定  
 (子供参加についてはお尋ねください)

詳しいちらしをふるさと館に用意しています。  
 お申し込みはお早めに!



### エコミュージアム リレー報告 その22

「上山高原エコミュージアムへの愛を込めて」



下雅意 満

岸田川源流域である上山高原の草原再生を目指して生まれた、NPO 法人「上山高原エコミュージアム」、故郷を離れた人々、高度成長の始まる昭和の時代を回顧して思いを馳せる人々、但馬の自然に触れたい都市部の人々、多くのファンが愛し心豊かになれる上山高原である。私も50年を経てUターン、興味ある行事プログラム、扇ノ山登山、霧ヶ滝トレッキング等に参加させていただき、楽しみ且つ感謝しています。21年度行事は数えて見ると27行事企画されておりびっくりする位多く催されています。そろそろm/c、ボランティア人力等勘案し現在流行の「仕分け」をしてみるのも一案ではないかと思えます。上山エコ創世記から次代に向けての「更なる発展への必要条件と十分条件」は、と検証をしても良い時期かな?の感想もあります。当初の目的との整合性はどうなっているか、軌道修正は必要か?エンドポイントは何処に置くのか等々。否既にそのように日々検討されているならば、如何様にパブリッシュをされ身近な町内で正しく周知されているのであろうか?例えば一町一川である岸田川の源流としての上山エコと、河口である浜坂漁協の繋がりはどうなっているだろうか。私の持論「山が豊かになれば川が豊かになる、川が豊かになれば海も豊かになる」。その意味でブナの植林と海岸清掃は同じ目的達成に向っていると思えます。それらの行事に各々の地域の人々が手を携えている姿に思いを馳せています。新温泉町すべての人が「わが町の至宝上山高原エコミュージアム」として、参加体験し誇れるNPOであることを夢見ています。



### 事務局だよ!

今年は年明け早々大雪でした。除雪も1月3日から既に7回を数えます。集落の皆さんもさぞご苦労されていることでしょう。大雪の年は、水稻が豊作だといわれます。今年の豊作を祈念。

とは言え今は雪も一休み。グラウンドの雪も随分量が減りました。現在、サテライト部会が新しい試みとして「かきもち」の仕込み中です。のり、えび、柚子など6種類を製造。近々カット作業が始まります。出来上がり次第販売予定。数に限りがあるのでご希望の際はふるさと館へお問い合わせ下さい。



### エコミュージアムのたからも

### 13 多彩な滝

雪のお面が滝

エコミュージアムのエリア内にはたくさんの滝があり、春夏秋冬、魅力的な姿を見せてくれます。昨年、新聞社の月刊パンフに大きく紹介されたこともあり、滝を目当てに遠方から訪れる人が増えています。集落から少し歩くだけで、冬でも迫力ある滝の姿を眺めることができる場所はそうありません。まさに身近にある「大きなたからもの」なのです。



今シーズンは雪の訪れが早く、まさに不意打ちという感じでした。地球温暖化の影響は、春と秋を短くするとも言われています。春夏秋冬、この愛すべき日本の繊細な気候サイクルに生きものたちは長い年月をかけ順応し、お互いに様々な関わり合いを保ちながら生きています。声にはならない自然の声に、耳を傾け続けたいと思います。

特定非営利活動法人 上山高原エコミュージアム

事務局 上山高原ふるさと館内

〒669 6953 兵庫県美方郡新温泉町石橋757-1

TEL(0796)99 4600 FAX(0796)99-4601

E-mail:ueyama-eco@yumenet.tv

http://www.ueyamakogen-eco.net.